

行ってみよう 認知症カフェ

市内11カ所の認知症カフェ

市では、認知症になっても安心して暮らせるまちを目指して、「認知症カフェ」の取り組みを進めています。

問い合わせ 高齢者福祉課（市庁舎2階、☎65・4145）

認知症とは、さまざまな原因で認知機能が低下し、日常生活や社会生活に支障がでている状態のことです。認知症は、誰もがなる可能性のある身近な病気です。

誰もが気軽に集える場所 「認知症カフェ」

認知症カフェは、認知症の人や家族、地域の人など誰でも参加でき、交流できる場所です。

お茶を飲みながら、参加者同士がおしゃべりをして楽しく過ごしたり、情報交換ができます。



和やかな雰囲気交流できる

スタッフには、認知症について知識のある専門職や認知症サポート員がいて、認知症に関する悩みなどを相談することもできます。また、日々の生活に役立つ内容や認知症に関するミニ講話のほか、手作りおやつ提供など、各会場

認知症カフェ一覧

カフェ名	住所	開催日時	電話番号
café 天使のひろば	西5南30、特別養護老人ホーム帯広至心寮	毎週1回（曜日不定） 10時～12時、14時～16時	☎24・9572、 ☎22・5060
ふれあい喫茶 しらかば	白樺16東5	毎月第3金曜日 13時～15時	☎35・8930
喫茶フォーユー	西16北1、ケアハウス そうび苑	毎月1回（曜日不定） 13時30分～15時	☎36・2088
カフェ えるむ	西22南1、にれの木	毎月第2日曜日 14時～16時	☎66・5111
ハートサウンズ オレンジカフェ	西18南3、ハートサウンズもりクリニック	毎月最終火曜日 14時～15時30分 （事前予約制）	☎38・3301
オレンジカフェ・ささえ愛	緑ヶ丘8、コムニの里みどりヶ丘	毎月第3木曜日 13時30分～15時	☎0120・331・891
カフェ えん	大正町西1、特別養護老人ホーム太陽園	毎月15日頃 10時30分～11時30分、 13時30分～15時30分	☎64・5570
にここカフェ	西5南39、北のお好み焼きいづみ	毎月第2水曜日 13時30分～15時 （8月、12月、1月は休み）	☎090・6260・7158
なんもなんもカフェ	西17南28、老人ホーム 普仁園・愛仁園	毎月第4水曜日 13時～15時	☎48・3311
なんもなんもカフェ	西24南1、地域密着型介護老人福祉施設あいじえん西帯広	毎月第3土曜日 13時～15時	☎61・1800
もり杜の出逢い	大空町3、地域密着型介護老人福祉施設杜のそら	毎月第4日曜日 13時30分～15時	☎090・3898・2900、 ☎47・4857

帯広市 認知症ガイドブック [検索](#)

認知症ガイドブックは、認知症の早期発見のためのチェックリストや、症状の進行に合わせ、いつどこで・どのような医療や生活支援サービスが受けられるのかが一目でわかる「認知症ケアパス」を掲載しています。

高齢者福祉課、地域包括支援センター※などで配布しているほか、市ホームページにも掲載しています。

で工夫を凝らしながら開催しています。参加費などの詳細は、各認知症カフェに問い合わせください。

認知症のことが分かる 「認知症ガイドブック」

もしも自分や家族が認知症になったとき、どこに相談したらよいか、どんなサービスがあるかご存じですか。



※地域包括支援センター 高齢者が住み慣れた地域で生き生きと暮らせるように支援する身近な相談窓口で、市内に8カ所あります。

市民の皆さんの まちづくりの実感

市民まちづくりアンケート結果

問い合わせ 企画課（市庁舎5階、☎65・4105）

市では、市民の皆さんが帯広市の住みごこちや、まちづくりにどのような実感を持っているかを調査するため、毎年度「市民まちづくりアンケート」を実施しています。

今年度は、無作為に抽出した20歳以上の市民4500人のうち、2176人（回収率48・4パーセント）から回答がありました。

8割以上が「住みやすい」と回答

帯広市は「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」と回答した人を合わせると、82パーセントでした。（表1）

また、今後も帯広市に「住み続けたい」と回答した人の割合は76・2パーセントで、いずれも高

い水準となっています。（表2）皆さんが感じるまちづくりの実感

まちづくりの実感に関する50項目の質問のうち、おいしい水道水や安全で良質な農畜産物の生産、消防・救急活動に関する項目などは、高い実感度となっています。

一方で、中心市街地の活性化や商店街などのにぎわい、高度な教育を受けるための環境に関する項目などは、実感度が低くなっています。（表3）

アンケート結果は今後のまちづくりに活用

集計した実感度と、アンケートの自由記載欄でいただいたご意見は、今後のまちづくりの参考としていきます。

アンケートの詳細な集計結果は、市庁舎や各コミセン、川西・大正支所でご覧いただけるほか、ホームページにも掲載しています。

表2 定住意識について

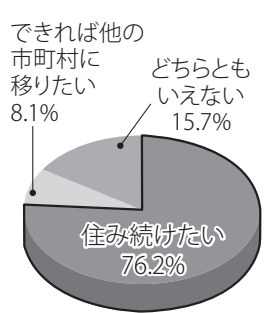


表1 住みごこちについて

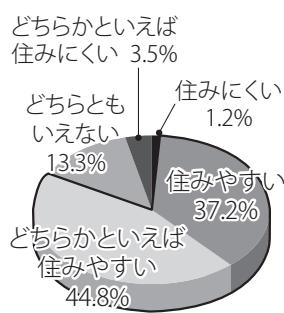


表3 実感度について

順位	実感度が高い項目（上位三つ）
1	おいしい水道水が、いつでも安心して利用できる
2	安全で良質な農畜産物が生産され、農業に活気がある
3	消火活動や救急活動が迅速に行われている
順位	実感度が低い項目（下位三つ）
48	大学や専修学校など、高度な教育を受けることができる環境が整っている
49	商店や商店街に活気がある
50	中心市街地に魅力とにぎわいがある

帯広市 市民まちづくりアンケート [検索](#)